

12 学校との連携強化による地域の相談支援機能の充実

新規

(事業目的) ひきこもりの増加が課題となる中、不登校の長期化からひきこもりに移行することが懸念されることから、学校からの支援が難しい、進路が定まらないまま学校を卒業・中退した青少年に対し、地域で支援を継続できるように、学校と地域の連携体制を確保する。

イン
プット

(事業費) 20,833千円

アクティ
ビティ

兵庫ひきこもり相談支援センター地域ブランチ(※)に、「青少年地域支援員」を各1名配置し、学校との連携により情報収集等を行いながら、卒業・退学後の本人・家族に対する相談支援を実施する。
※県内5箇所(阪神・播磨・但馬・丹波・淡路)×各1名×週4配置

アウト
プット

①学校訪問数(5地域ブランチ合計)

アウト
カム

①地域ブランチにおける青少年(及びその家族)からの相談件数
※R5はブランチ職員による相談対応、R6～は青少年支援に特化した地域支援員を配置のうえ体制を強化
②学校からの相談件数